

アリ類消毒基準策定のための考え方

特定外来生物	輸入品等に付着又は混入することで、国内に成虫が侵入する可能性(条件ごと)					(参考)			
	コロニー (試験未実施)	卵 (試験未実施)	幼虫 (試験未実施)	蛹 (試験一部実施)	成虫(働きアリ)の殺虫試験結果 (試験一部実施)	原産・侵入地	日本での分布	水際での検出	繁殖生態
アルゼンチンアリ	<b>ある</b> 営巣場所 落ち葉や石の下の他、様々なものの隙間 理由 土を必要とせず、輸入品等の隙間に営巣する可能性があるため			<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  <u>消毒試験実施により、臭化メチルでは完全殺虫。</u>	<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  <u>消毒試験実施により、完全殺虫。</u>	南米原産。世界各地の温帯に侵入。	本州、四国の12都府県に侵入	事例あり	多女王性
ヒアリ(アカヒアリ)	<b>極めて低い</b> 営巣場所 土中、大型のアリ塚を作る 理由 土の輸入が植防法で禁止されているため、随伴して侵入する可能性は極めて低い。	<b>ほぼ考えられない</b> 理由 成虫の世話なしでは成長しないと考えられるため、成虫が殺虫されれば、定着は想定し難い。	<b>ほぼ考えられない</b> 理由 成虫の世話なしでは成長しないと考えられるため、成虫が殺虫されれば、定着は想定し難い。	<b>極めて低い</b> 理由 コロニーが侵入する可能性が極めて低いことから、侵入する可能性自体は極めて低くなる。	<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  アルゼンチンアリと比較し薬剤感受性が低いことは想定しがたい。	南米原産。オーストラリア、米国、台湾、中国、マレーシア等に侵入。	未侵入	事例無し	
アカカミアリ	<b>極めて低い</b> 営巣場所 土中 理由 土の輸入が植防法で禁止されているため、随伴して侵入する可能性は極めて低い。			<b>極めて低い</b> 理由 コロニーが侵入する可能性が極めて低いことから、侵入する可能性自体は極めて低くなる。	<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  アルゼンチンアリと比較し薬剤感受性が低いことは想定しがたい。	南米原産。世界各地の熱帯に侵入。	硫黄島のみ to 生息。沖縄島、伊江島に侵入したが未定着。	事例あり	
コカミアリ	<b>ある</b> 営巣場所 落ち葉や石の下の他、様々なものの隙間 理由 土を必要とせず、輸入品等の隙間に営巣する可能性があるため			<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  アルゼンチンアリと比較し薬剤感受性が低いことは想定しがたい。	<b>ある</b> 理由 非意図的な輸入品等への付着又は混入  アルゼンチンアリと比較し薬剤感受性が低いことは想定しがたい。	南米原産。中米、カリブ諸島、太平洋諸島等に侵入。	未侵入	事例無し	

## Point 1 . 営巣場所の観点からの整理

- ・植物防疫法により「土又は土の付着した植物」の輸入が禁止されているため、土壌中に営巣するヒアリとアカカミアリのコロニーが輸入貨物に**随伴する可能性は極めて低い**。
- ・**コロニーごと随伴**する可能性があるのは**アルゼンチンアリとコカミアリ**。
- ・ヒアリとアカカミアリは、**受精した女王**の侵入に**警戒**する必要。

## Point 2 . 発育ステージの観点からの整理

- ・すべての種について、**卵及び幼虫**のステージは**成虫の世話**を受けなければ成長し、**成虫になることはできない**と考えられる。
- ・蛹については、**成虫の世話**がなければ**羽化率が下がる可能性**がアルゼンチンアリで示唆された。
- ・また、全コロニーにおける**蛹の割合は少なく**、さらに**繁殖虫の蛹の割合はさらに少ない**。

## Point 3 . 成虫(働きアリ)による試験結果

- ・**アルゼンチンアリ**成虫(働きアリ)は、**植物防疫法のくん蒸基準**を用いた試験において**完全殺虫**された。
- ・既存の知見では**アリ**の種やカーストによって著しく**薬剤感受性が異なる**という例は**知られておらず**、繁殖虫やアリ類の**他の種**でも著しく**薬剤感受性が低い**ことは、現在の知見からは**想定し難い**。(アルゼンチンアリ以外は入手が困難であり、試験実施が難しい。)
- ・以上より、**アルゼンチンアリでの試験結果**は、他の特定外来生物**アリ類3種にも応用できるもの**として整理したい。